

社協 おうたき

第

73

号

令和 2年 7月15日 発行

社会福祉法人

王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曽郡王滝村2830-1

TEL 0264 (48)2008

FAX 0264(48)3033

めくもい伝わる



支え合いの輪

令和元年度事業報告・・・2～5p

令和元年度収支決算・・・6～7p

季節の味覚をお届け!

お楽しみ弁当は、8グループ52名のつくり隊の皆さんが調理を担当。絵手紙ボラの皆さんの絵手紙にディサービスのお年寄りが色づけした包み紙が、毎月、季節の便りとして添えられます。

令和元年度おもな事業の報告



「すくすく」育て！
どんぐり広場の子どもたちが
鳳泉寺のお花祭りに参加。健
かな成長をお祈りしました。

なつかしい王滝の地図
ごたくらぶでは、昔を懐かし
60年以上前に牧尾ダムの下に沈
んだ集落の地図づくりに挑戦。



支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

- 6月13日 滝越地区サロン 参加者 7名
口腔教室（診療所）、昼食交流会
6月20日 野口地区サロン 参加者21名
ふれあいゲーム他 ※自主サロン共催
10月2日 東地区サロン 参加者 6名
出張介護教室他



今年も一年がんばらまい！
登録ボランティアの皆さんの新年
交流会。歌って、踊って、元氣に
一年の活動をスタート！



◇地域福祉サービス

	実施回数	利用者	延利用回数(前年度比)
1 どんぐり広場	11回	8組9名	49回 (+2回)
2 ミニ児童館	225日	20名	316回 (+103回)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	19名	132回 (△53名)
4 お楽しみ弁当	14回	48名	536回 (△16名)
5 ごたくらぶ	11回	6名	35回 (△5名)
6 会食会	1回	81名	- (+3名)
7 障がい者希望の旅	1回	5名	- (±0名)
8 障がい者交流会	1回	4名	- (+2名)
9 金銭管理・財産保全サービス	- 日	- 名	- 回 (- 回)



◇生活資金貸付事業

貸付件数/残高 2件 (270,000円)

☆新規貸付 1件 ☆償還終了 1件

☆身近な支え合いの輪

昨年は、成人男女の13%に当たる91名の方がボランティア登録をされ活動。9名の方が新規に登録され、新たな登録メニューとして「食の会」の皆さんの活動も加わりました。人口減少の進む中、これからの地域を支える頼もしい担い手の皆さんです。

☆災害時の支え合い

10月に発生した台風19号では県内被災地のボランティアセンターの活動支援に参加。近年頻発する大規模災害の中で、広域レベルでの支え合い活動も必要となっています。



“昔取った杵柄”で、デイサービスの利用者も恒例の餅つきに参加。



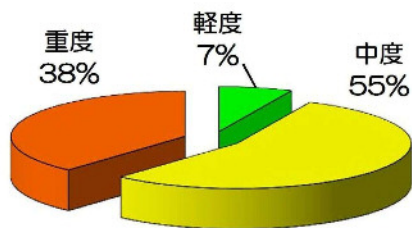
◇介護保険(障害福祉)サービス

	営業日	利用者	延利用回数
1 居宅介護支援事業	241日	37名 ◎新規 8名	365回
2 通所介護(デイサービス)	257日	24名 ◎新規 3名	2,601回
3 訪問介護(ホームヘルプ)	309日	14名 ◎新規 2名	2,552回
4 障がい者ホームヘルプ	309日	- 名	- 回
移動支援サービス		1名	50回

<居宅介護支援事業>

介護状態別ケアプラン作成状況(延件数)

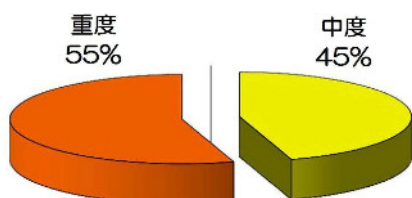
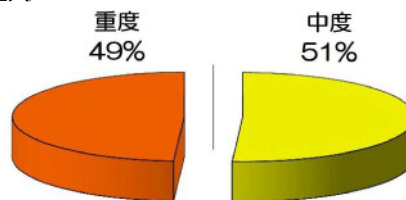
	元年度	30年度	増減
軽度	25件	28件	△3件
中度	200件	215件	△15件
重度	140件	104件	+36件
合計	365件	347件	+18件



<デイサービス>

介護状態別利用状況(延人数) ◎1日平均利用者 10.1人(△0.2人)

	元年度	30年度	増減
軽度	- 人	- 人	- 人
中度	1,326人	1,480人	△154人
重度	1,275人	1,161人	+114人
合計	2,601人	2,641人	△40人



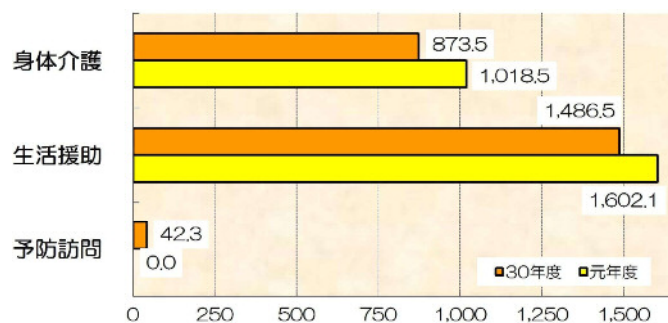
<ホームヘルプサービス>

介護状態別利用状況(延回数)

	元年度	30年度	増減
軽度	0回	44回	△44回
中度	1,152回	1,617回	△465回
重度	1,400回	859回	+541回
合計	2,552回	2,520回	+32回

◎延訪問時間 2,621H(前年度比+218H)

※1回当たり訪問時間(平均) 62分(前年度比108%)



☆訪問サービスの利用者が減少

障害サービス利用者1名が介護保険へ移行した訪問サービス。利用者数が前年度より△6名減少し、利用回数も月平均△35回(△14%)と大幅に減少しました。独居世帯を中心に、早期で施設入所をされる方が増加する傾向にあります。

☆介護サービスの事業経営が岐路

通所介護事業では、有資格者の欠員による介護報酬減算により、事業運営に大きな影響がありました。早期の施設入所等による利用者減少の動向の中、専門職員確保による人員体制整備の課題を抱える介護保険事業。人口減少の進む地域の中で、地域における今後の介護サービス確保のあり方が問われています。

<障がい者ホームヘルプ> ※移動支援含む

	元年度	30年度	増減
◎延訪問回数	50回	514回	△464回
◎延訪問時間	88.0H	465.5H	△377.5H

☆生活支援サービスが 日常生活に不可欠！

外出支援サービスでは、実利用者の減少により年間の利用回数は減少しましたが、村外の通院等の利用は月平均49回と、前年度より+11%増加しました。また、1人当たりの利用回数では、外出支援で月平均13回、配食サービスで月平均17食と利用頻度が高くなっており、独居世帯等を中心に、日常生活に欠かすことのできないサービスとなっています。

一方、利用者の実人数によりサービス利用回数が大きく増減する傾向があり、提供スタッフの確保や人員体制の整備も大きな課題となっています。

◇介護予防・生活支援事業



	実施回数 (日数)	利用者	延利用回数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	10名	90回 (△22回)
2 配食サービス	482回	22名	3,625回 (△241回)
3 生活支援訪問サービス	79日	14名	99回 (△29回)
① 介護予防ホームヘルプ	-	0名	0回 (△5回)
② 生活支援ホームヘルプ	-	14名	99回 (△24回)
4 介護教室	5回	45名	54回 (△25回)
5 介護者リフレッシュ	4回	14名	25回 (△3回)
6 外出支援サービス	232日	39名	1,310回 (△104回)
7 ひとり暮らしよらまい会	4回	26名	67回 (+1回)
8 心配ごと相談所	15回	-	8回 (△6回)

きれいなお花で若返り！

ひとり暮らしよらまい会の日帰り旅行。昨年は障がい者の皆さんのふれあい交流会と合同で、信州花フェスタに出かけました。



◇生活支援ハウス運営事業

入居者4世帯6名(365日 24時間営業)

☆新規入居 2世帯(3名) ☆退所 2世帯(2名)



園児がばあちゃんにプレゼント
いきいきサロンで園児と七夕交流会
かわいいプレゼントに、ばあちゃん
たちはおやきを作ってお返し！



お口の中の健康はだいじょうぶ？

「食べる」ことは、健康づくりの基本。東区で行われた出張介護教室では、診療所歯科の平出先生のお話に熱心に耳を傾けました。



絵手紙を届けよう！

夏休みボランティア体験では小中学生が絵手紙で暑中見舞いを描いて、配食サービスのお弁当といっしょにお届け。





“ともに支える”地域づくり

みんなで支える認知症
地域支援合い研修会では、認知症について学び合いました。



作業のあとは畑で交流
遊休農地を活用した花畑づくり。
昨年は海外からも助っ人登場！

R1生活支援ネットワーク事業

- (1) 生活支援ネットワーク会議（運営委員14名）
6月21日・・・令和元年度推進計画他
- (2) 地域支援合い推進会議（推進委員23名）
第1回 6月21日・・・令和元年度推進目標他
第2回 3月30日・・・取組み状況と今後の課題
- ☆専門委員会 計2回開催
① 生活支援と見守り活動 ② 居場所づくり&健康・生きがいづくり ③ 社会参加と就労支援
- (3) 生活支援コーディネーター 1名(兼任)
- (4) 体制整備に関する諸事業

① 地域支援合い研修&支援者養成講習

9月30日 参加者28名

『認知症になった波平さん！』

6月27日 参加者10名 ☆支援者養成講座

『出会おう！あなたの知らないボランティア』

3月30日 参加者 8 名

『認知症の理解と対応』

② ニーズ調査活動

生活支援ニーズの聞き取り調査他

③ 広報紙による情報周知

④ ボランティア活動支援&支援活動の需給調整

⑤ 遊休農地を活用した取り組み

景観整備花畑&王滝かぼつくり 参加者 延122人

～令和元年度監査意見より～

◇実施事業継続のための取り組み

人員体制の厳しい中、地域福祉活動の推進と多岐にわたる福祉サービスの提供に努力が認められる。人口減少が進行する中で、多くの村民が少しでも長く地域の中で安心して暮らし続けられるように、今後とも実施事業の継続のための取り組みに努められたい。

R2生活支援ネットワーク事業

おもな取り組み課題

○生活支援及び見守り活動

『資源マップの活用と支援ネットワーク構築』

- *資源マップの作成 *若い世代の参加促進&支援者養成 *隣近所の支え合いネットワークづくり
- *認知症見守り体制づくり 等

○居場所づくり&健康・生きがいづくり

『身近で多様な居場所づくいを広めよう！』

- *サロン活動の普及 *多様なサロン活動と活動の場づくり *地域の寄り合い場所の確保 *官民事業の協働体制づくり 等

○高齢者の社会参加及び就労活動

『ともに学び、支え合う地域づくりの推進』

- *交流&伝承&生きがいの場づくり *遊休農地を活用した取り組み *住民主体の組織づくり 等



地区でのサロンは楽しいひととき！

自主的に活動をされる中越サロンの皆さんが、集会所でほう葉寿しづくり。身近な地区での集まりを、みなさん楽しみにされています。

R1認知症安心ネットワーク事業

- (1) 認知症地域支援推進員 1名(兼任)
- (2) 相談支援体制の整備
 - ① 介護・認知症相談(年2回)
 - ② 認知症講座(年2回)・・・3月30日 介護教室
／6月27日地域支援合い研修会 36名受講
 - ③ 介護サービス利用者家族会の開催(年2回)
- (3) 支援関係者と地域の支援ネットワークづくり
- (4) 介護職員の資質向上、及び在宅介護の相談支援の充実

令和元年度一般会計決算

“事業収入減少により厳しい経営状況”

令和元年度の歳入決算は、前年度比△四四六万円（△6%）と大幅な減額決算となりました。一方、歳入面では、介護保険、障害福祉の事業収入が、前年度比△六七一万円（△16%）と大幅に減少。運営補填のための積立資産からの取崩額は、前年度比十三二九万円と大幅に増加し、大変厳しい経営状況となりました。

特に通所介護事業では、介護報酬の減算により△四七〇万円（△18%）の繰入決算となり、厳しい事業運営を余儀なくされました。介護サービス部門では、必要な人員体制の整備と、事業収入の確保のバランスを図るのが難しい現状となっており、今後の介護サービスの確保のあり方が、地域における大きな課題となっています。

令和元年度の歳入決算は、前年度比△四四六万円（△6%）と大幅な減額決算となりました。一方、歳入面では、介護保険、障害福祉の事業収入が、前年度比△六七一万円（△16%）と大幅に減少。運営補填のための積立資産からの取崩額は、前年度比十三二九万円と大幅に増加し、大変厳しい経営状況となりました。



～令和元年度監査意見より～

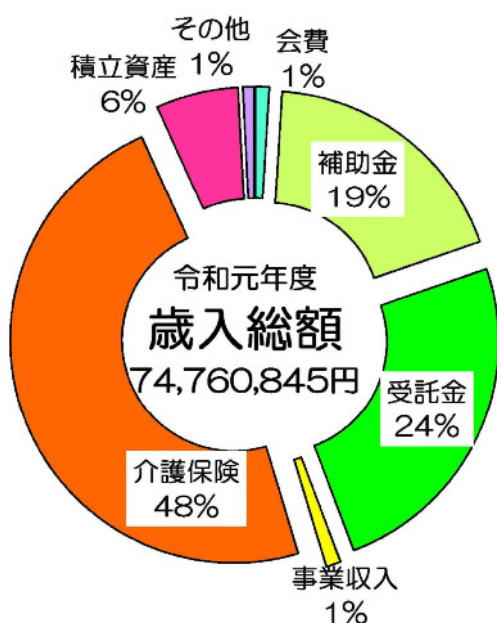
◇厳しい収支状況と事業

継続のための取り組み

事業収入の大幅な減少により、介護保険事業の収支は非常に厳しい決算状況になっている。収支のやり繰りなど経営面での苦労がうかがえるが、引き続き事業継続のための取り組みに努められたい。

歳入

（単位：円）



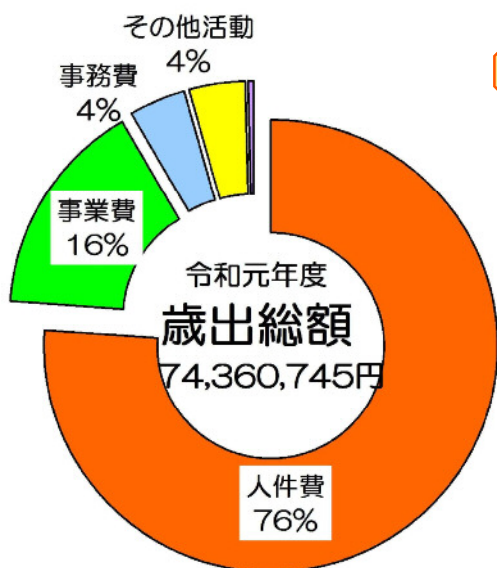
	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	741,000	783,000	△42,000
2 寄附金	70,503	83,600	△13,097
3 補助金	14,000,865	13,681,815	319,050
4 受託金	18,363,917	18,466,812	△102,895
5 貸付事業収入	200,000	200,000	0
6 事業収入	799,500	821,250	△21,750
7 介護保険事業収入	35,801,754	41,142,665	△5,340,911
8 障害サービス収入	128,200	1,494,020	△1,365,820
9 施設整備等補助金	0	970,000	△970,000
10 基金・積立金取崩	4,439,408	1,354,900	3,084,508
11 前期繰越金	200,000	200,000	0
12 その他	15,698	20,183	△4,485
合計	74,760,845	79,218,245	△4,457,400

※「補助金」は共同募金配分金収入(478,865円)を含む。

「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等の収入。

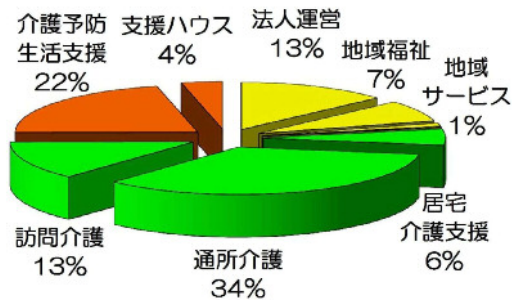
歳出

（単位：円）



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	56,596,938	59,725,299	△3,128,361
2 事業費	11,508,524	11,594,834	△86,310
3 事務費	2,995,400	3,074,207	△78,807
4 貸付支出	160,000	0	160,000
5 固定資産取得支出	0	1,336,000	△1,336,000
6 その他の活動支出	2,972,468	2,966,295	6,173
7 基金・積立金積立	70,515	66,610	3,905
8 その他	57,000	55,000	2,000
合計	74,360,845	78,818,245	△4,457,400

※「その他の活動支出」は退職給付引当資産等の支出。



= 各サービス区分のおもな事業 =

◇地域福祉推進事業 * 計6事業

①地域福祉推進事業 ②ボランティアの育成・支援
③福祉教育の推進 ④調査広報事業 ⑤社会福祉大会 ⑥福祉活動の促進・支援等 ⑦

◇地域福祉サービス * 計7事業

①どんぐり広場/ミニ児童館 ②会食会他 ③ふれあい元気づくり教室 ④お楽しみ弁当 ⑤ごたくらふ ⑥障がい者希望の旅 ⑦障がい者の交流促進等
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計376,100円 (対事業費 56%)

◇介護予防・生活支援事業 計9事業

①いきいきサロン ②配食サービス ③生活支援訪問サービス ④介護教室 ⑤介護者リフレッシュ事業 ⑥外出支援サービス ⑦心配ごと相談所
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計1,747,450円 (対事業費 75%)
⑧生活支援ネット事業 ⑨認知症安心ネット事業
※「*」の事業の内、計11事業に会員の皆さまの年会費を充当しています。「◎」の事業は、共同募金配分金事業です。(計6事業)

事業別歳出決算額の内訳

(単位: 円)

拠点/サービス区分	決算額	前年度決算額	増減
1 法人・地域福祉活動	16,335,739	16,025,657	310,082
1 法人運営事業	9,921,720	9,603,822	317,898
2 地域福祉推進事業	5,410,543	5,442,336	△31,793
3 地域福祉サービス	805,464	940,489	△135,025
4 生活資金貸付事業	198,012	39,010	159,002
2 介護保険サービス	39,399,889	44,065,276	△4,665,387
1 居宅介護支援事業	4,071,402	4,051,545	19,857
2 通所介護事業	25,589,439	28,130,561	△2,541,122
3 訪問介護事業	9,739,048	11,883,170	△2,144,122
3 介護予防・日常生活支援事業 (受託事業)	18,625,217	18,727,312	△102,095
1 介護予防・生活支援事業	15,940,817	16,069,812	△128,995
2 生活支援ハウス運営事業	2,684,400	2,657,500	26,900
合計	74,360,845	78,818,245	△4,457,400

※ 法人運営事業は基金組入額(70,503円)を含む。

介護保険事業の収支

(単位: 円)



	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合 計
歳出決算額 a	4,071,402	25,589,439	9,739,048	39,399,889
介護保険収入他 b	4,792,550	20,887,000	10,250,404	35,929,954
過不足額 b-a	721,148	△4,702,439	511,356	△3,469,935
(固定資産積立金)	0	0	0	0
(他事業繰出/繰入金)	721,148	△4,702,439	511,356	△3,469,935
(次年度繰越金)	0	0	0	0

※ 「介護保険収入他」の内、利用者の皆さまの利用料 計5,239,427円 (対事業費107%)

R1 基金・積立金の状況

R2.3.31現在

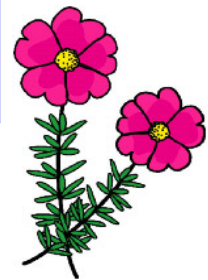
(単位: 円)

地域福祉基金 ※地方交付税財源	積立額	0	
	取崩額	0	
	残高	77,739,000	◎果実運用 (社会福祉事業へ)
福祉基金 ※寄附金等財源	積立額	70,503	一般寄附金積立額
	取崩額	0	
	残高	10,947,590	◎果実等運用 (地域独自の福祉サービスへ)
法人安定化積立金	積立額	0	
	取崩額	△4,279,408	運営補填取崩額 (2事業)
	残高	10,910,193	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
固定資産積立金	積立額	0	
	取崩額	0	
	残高	14,136,447	◎消耗資産の更新準備金 (8件)
暮らし資金積立金	積立額	12	預金利息積立額
	取崩額	0	
	残高	1,499,849	◎生活資金貸付事業原資

※ 令和元年度は、事業財源の不足による運営補填のために、法人安定化積立金より法人運営事業へ809,473円、介護保険事業へ3,469,935円 (1事業)を取り崩し充当しました。(取崩予算額 4,605千円)

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人件体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積み立てています。



令和元年度寄付者ご芳名 (受付順)

たいせつに使わせて頂きます！

寄付金総額 70,503円

一般寄付金

団体 丑寅同級会 様
長野県労働金庫
福島支店運営委員会 様

(第30回福祉・健康の集い
／チャリティーマーケット)

団体 一社) ムラビトミライ 様
里の駅王滝 おんたけ広場 様
長谷川農園 様

1月23日、ろうきん福島支店
より恒例の親子アニメまつり
の入場料を寄附頂きました。

個人 脇坂 智恵子 様
上野 紗矢 様
細尾 美智代 様

チャリティバザー (10,610円)

※ この他にも、新鮮な野菜や山菜、果物などの食材、
手づくりの弁当袋、綿布やはぎれなど、地域のみなさま
からたくさんの頂きものがありました。(計123件)
いつもありがとうございます。



各種委員の改選

評議員

☆現員数 9名
(定数 7～10名) ◎前任者退任に伴う補充

宮坂 寛 ～関係機関／教育機関(小中学校)
(任期：令和2年6月20日～令和3年6月定時評議員会)

新型コロナウイルスは、目・鼻・口から感染します。

飛沫
感染



咳・くしゃみや、2m以内でマスクをせずに
会話をすることで生じる飛沫が
目・鼻・口に入ることによって感染します。

接触
感染



ウイルスがついた手で
目・鼻・口に触れること
で感染します。

心がけよう！感染予防

新型コロナウイルスの影響で、3月より各種
事業で皆さんにご不便をお掛けしています。
さまざまな社会的な活動が制約を受け、感染
の終息の兆しが見えない中、石けん等での
こまめな手洗いやうがい、人と接する
際の社会的距離の確保、人混みでの
マスクの着用など、感染予防の基本を
再確認し、少しでも安心して日常生活
を送りたいですね。

信州版

新たな日常の すゝめ



感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう！

3つの基本



身体的距離の確保



マスクの着用
(人混みの中、会話の際)



手洗い・手指消毒

3密の回避



3つの確認

- ☒ 体温確認
- ☒ 体調確認
- ☒ 行動履歴確認

毎日の健康チェックを欠かさず
に行いましょう。風邪症状がある
ときは、外出を避けましょう。

症状が長引くときや息苦しさや高熱などの強い症状がある時は、かかりつけ医や有症者相談窓口にご相談しましょう。

信州版「新たな日常のすゝめ」(長野県)より